

平成30年度 「評定の範囲」について

1. 「評定の範囲」とは

各中学校における生徒の年度末評定が妥当性・信頼性の高いものであるかどうかを判断するため、チャレンジテストの結果を活用し、府教育委員会が示す得点の範囲のこと。

※例：第1学年の国語において「評定3」と評価されている生徒のチャレンジテストの得点が「評定の範囲」である76点から22点の間であれば、その生徒の評価は妥当かつ信頼できるものとする。

2. 作成方法

各教科（選択問題においては選択問題ごと）の評定ごとに、チャレンジテストの得点の分布を統計の手法によって処理し、分布内の約95%を「評定の範囲」とする。

3. 「評定の範囲」

<中学校第1学年>

	評定5	評定4	評定3	評定2	評定1
国語	100～56 (87～66)	88～41 (76～53)	76～22 (62～36)	56～8 (44～21)	48～0 (35～10)
数学	100～66 (93～75)	94～49 (82～60)	81～24 (67～39)	58～5 (45～19)	45～0 (33～9)
英語	100～67 (95～77)	98～45 (85～59)	84～18 (67～35)	54～6 (42～18)	45～0 (33～11)

<中学校第2学年>

	評定5	評定4	評定3	評定2	評定1
国語	100～57 (86～67)	89～42 (77～54)	78～24 (64～38)	63～5 (48～20)	55～0 (39～10)
社会A	100～54 (89～66)	88～36 (75～50)	71～17 (57～30)	49～6 (38～17)	41～0 (31～13)
社会B	100～54 (87～65)	85～35 (72～48)	69～17 (56～30)	49～7 (38～17)	47～0 (34～9)
数学	100～73 (96～81)	100～51 (88～63)	84～21 (67～37)	56～2 (42～16)	36～0 (26～6)
理科A	100～63 (92～73)	93～42 (80～55)	76～16 (61～31)	52～3 (39～16)	40～0 (30～9)
理科B	100～57 (89～68)	88～38 (75～50)	72～15 (57～29)	48～4 (37～15)	41～0 (30～9)
英語	100～56 (95～69)	94～32 (78～48)	70～12 (55～27)	44～5 (34～15)	38～0 (29～12)

※（ ）内は、当該評定の範囲の中で、得点の平均値の上下約35%の生徒が存在する範囲